

第三者委員会議記録簿

平成22年度上半期

社会福祉法人・春生会

施設長	児玉 邦彦	出席者	第三者委員	岡 清子	野村 紘子	司会者	児玉 邦彦
			保育事業部主任	小谷 祐子	岩切 理恵	記録者	岩切 加寿子
			記念事業部主任	押川 美保子			
			春生事業部主任	中萬 裕美			
開催場所	保育園3F 会議室						
開催日時	平成 22年 9月 14日 (水) 13 時 30 分 ~ 15 時 00 分						
議題							
1. 各部門より(H22.2.16以降の)苦情についての報告							
2. 報告内容についての協議							
3. その他							
各部門報告内容							
乳児保育部	苦情としてあがったものは特になし。入所児童が増えたので、朝、保護者より直接職員がお預かりできるよ迎える職員を時間差勤務で増やしている。又、保育士同士の連携もしっかりとるよう心がけている。						
幼児教育部	苦情としてあがったものは特になし。保育園での出来事を子供から親へ話す時に誤解が生じたりするが保護者より聞かれた時その時の状況を説明して納得していただいている。						
記念事業部	(希望山荘)・・・苦情としてあがったものはなし。						
	(希望楽苑)・・・ 「通い利用日に入浴していなかったが、何か理由があったのか」と聞かれた。						
	通いの利用者さんの迎えを忘れており、ご家族から電話があった。						
	病院受診の為夫が迎えに来た時、トイレに行って自尿があったことをスタッフが伝えるも病院に行くと失禁しておりパットはしてなくてトイレトペーパーを挟んでいたとの事。						
	体温計をはめたまま帰宅していた						
春生事業部	(ケアプラン)・・・苦情としてあがったものはなし。						
	(訪問)・・・ 訪問の担当はだいたい決まっているが、代替の職員が訪問をし忘れた。						
	(春生倶楽部)・・・ 入浴後ひげそりをしたが、ひげそり器具に破損があり顔を傷つけてしまった。						
協議内容							
職員の連携ミスによるもので、入浴していなかった事を謝罪した。							
謝罪し、すぐに迎えに行った。本来2人でチェックする所を1人でしていた。							
職員の配慮不足により不愉快な思いをさせた事を謝罪した。							
職員の確認不足から迷惑かけた事を謝罪した。バイタルチェック後の確認をしっかり行うよう話し合った。							
(~ とも今後同じ事がないように職員で話し合った。)							
翌日、担当と責任者で謝罪に行った。							
送り時、状況を報告し謝罪したが、お詫びの言葉に誠意が感じられなかったと指摘された。							
施設内にてリスクマネジメントをふまえ、スタッフ全員にてミーティングを行った。							
特記事項							